

第 8 章

わたしが英英辞典トラウマを脱するまで (下)

■ Introduction

わたしの英英辞典トラウマは、まだまだ続きます。

せっかくコリンズ・コウビルド英英に出会ったものの、求める語彙にたどりつくのがあまりに面倒だった。もうひと工夫あればなあ。

そして出会ったのが、ロングマン上級英英の第3版でした。

用例データベースがくりだす魅力的な用例に満ち、じょうずな工夫により語義も引きやすい英英辞典。

この英英にたどりつくまでを語らせてください。


コリンズ・コビルド英英辞典に感じた不満

こうして過去を思い返すと、ああだ、こうだと文句ばかり言う自分が恥ずかしくもなりますが、*Collins COBUILD English Dictionary* の語釈は「語りかけて」くれる分どうしても長ったらしくなるし、語義の羅列の仕方に独特のこだわりがありすぎて、求める語義にたどりつくのにえらく時間がかかることがあるのです。

love の語釈をあらためて見てみましょう。先ほど見たのは「恋する、恋愛感情をいだく」という第1の語義でした。動詞でしたね。便宜のため、もういちど転記しておきます。

love: 1. If you **love** someone, you feel romantically or sexually attracted to them, and they are very important to you. || *Oh, Amy, I love you. | We love each other. We want to spend our lives together.*

では第2の語義は何と書いてあるでしょう。

love: 2. **Love** is a very strong feeling of affection towards someone who you are romantically or sexually attracted to. || (用例2つ省略) | *an album of love songs.*

(2. love とは、恋愛感情的ないし性的に惹かれている誰かに対する愛情を極めて強く感じる事。|| ラブソングのアルバム)

第2の語義は「恋、恋愛感情」。名詞です。第1の語義は「恋する」という動詞でしたが、第2の語義はその名詞形と言えます。

love: 3. You say that you **love** someone when their happiness is very important to you, so that you behave in a kind and caring way towards them. || *You'll never love anyone the way you love your baby.*

(3. 誰かを love していると言うとき、その誰かが幸せであることが自分にとってとても大事であり、それゆえその誰かに対して心優しく思いやりのあるふるまいをする。|| 自分の赤ん坊をいとおむほほどに誰かに愛情を注ぐことはない [自分の赤ん坊への愛は誰に対してよりも深い])

第3の語義は、より広く深い意味で「愛する、いつくしむ」。動詞です。すてきな語釈、そしてジーンとくる例文です。

それでは第4の語義は？ 第3の語義の名詞形です。

love: 4. **Love** is the feeling that a person's happiness is very important to you, and the way you show this feeling in your behaviour towards them. || *My love for all my children is unconditional.*

(4. love とは、ある人が幸せであることがとても大事に感じられ、その人へのふるまいにこの気持ちがあらわれること。|| うちの子供たち皆への愛は、掛け値なしだ)

love に unconditional という形容詞をあてがってくれたこの辞書のセンスに脱帽です。すっかりこの辞書が好きになってしまいました。I love this dictionary! と心が叫ぶ……

おっと、I love this dictionary! と心は叫べど、この love は第1から第4までの語義にはあてはまらない。

第1～第4の love は someone ないし a person に対する love で

した。this dictionary すなわち something ないし a thing に対する love は、第5・第6・第7の語義となります。第5・第6が動詞で、第7がその名詞形。

love: 5. If you **love** something, you like it very much. || *We loved the food so much, especially the fish dishes.* (用例あと3つ省略)

(5. 何かを love しているというのは、その何かがとても気に入っていること。|| 食べものは最高だった。とくに魚料理の数々が絶品)

love: 6. You can say that you **love** something when you consider that it is important and want to protect or support it. || *I love my country as you love yours.*

(6. 何かを大切だと思い、まもり支えたいと思うとき、その何かを love していると言ってよい。|| あなた同様、わたしも自分の国のことを大事に思う)

love: 7. **Love** is a strong liking for something, or a belief that it is important. || *This is no way to encourage a love of literature.* (用例あと1つ省略)

(7. love とは何かに対する強い嗜好、ないしは何かが重要であると強く思うこと。|| こんなやりかたで文学への愛が培われることはない)

I love this dictionary! とわたしの心が叫んだとき、その love は5番なのか6番なのか。うーん、5番でもあり、6番でもあり……。

親が自分の娘や息子を love するときは、3番の語義です。間違っただけ1番のほうの love に陥ってしまうと、you feel romantically or sexually attracted to your son or daughter ということですから、子離れができない困った親御さん、あるいはヘタをするとかな

りやばい世界になってしまう。1番の語義と3番の語義を分けるのは、そういう意味でこの2つが異なる感情だからでしょう。

……などと、love という1語だけでも色々と考えさせてくれるいい辞書なのですが、けっきょくわたしはこの英英辞典を職場で使うことにはなりません。

すばらしい英英辞典には違いないけれど、例えば「ものごとを love する」6番目の語義にたどり着くために、延々と、例文を含めれば20行以上も、ざっと目を通さなければならない。味わいのある辞書ではあるけれど、日常使いをするのには、いささかなじまない。

語義配列のなかで動詞とその名詞形が交互に混在するのも問題です。辞書編纂者の意図は痛いほどわかるけれど、けっきょく使いづらい。通常の英語辞典は、動詞の love と名詞の love をそもそも大きく別見出しで立てます。そのほうが使いやすい。

残念ながら Collins COBUILD English Dictionary は、書棚の飾りになってしまいました。

